



ゆすはら町議会だより

四万十源流

平成30年1月20日

第102号

題字 議長 土釜 清





迎春

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと
謹んでお慶び申し上げます。
また、平素より議会に対しまして
ご指導ご鞭撻を賜り
衷心より感謝申し上げます。
本年も町民の皆様の変わらぬご支援・
ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成三十年 元旦

議会議長

土釜 清

梶原町議会

議長 土釜 清
副議長 市川 岩亀

議会運営委員会

委員長 二宮 近雄
副委員長 川上 寿久
委員 下元 秀俊
委員 中岡 俊輔
委員 中越 計清
委員 西川 慶男
オブザーバー 市川 岩亀

総務教育厚生常任委員会

委員長 西川 慶男
副委員長 二宮 近雄
委員 川上 寿久
委員 土釜 清
委員 市川 岩亀

産業建設常任委員会

委員長 下元 秀俊
副委員長 中岡 俊輔
委員 土釜 清
委員 市川 岩亀
委員 中越 計清

議会広報編集委員会

委員長 中岡 俊輔
副委員長 下元 秀俊
委員 川上 寿久
委員 二宮 近雄
委員 市川 岩亀
委員 中越 計清

事務局

局長 大川真一郎
書記 加藤和嘉子



中岡俊輔(茶や谷)



二宮近雄(東町)



下元秀俊(茶や谷)



川上寿久(横貝)



西川慶男(飯母)



中越計清(川井)



市川岩亀(久保谷)

表紙写真の紹介



栲原の未来を託す新成人

12月定例会(336回)

議会12月定例会は、12月7日から12月8日の2日間の会期で開催した。議案審議では、一般会計補正予算や指定管理者の指定、工事請負契約など審議し原案どおり可決した。また、西川議員が「子どものための予算を大幅に増やし、国の責任で安心できる保育の実現を求める意見書の提出について」、市川議員が「矢野富夫君に対する感謝状決議案の提出について」を提案し、全会一致で提出することに決定した。

12月臨時会(337回)

議会12月臨時会は、12月26日の1日間を会期とし開催した。議案審議では、栲原町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例、一般職の職員の給与に関する条例の一部改正、補正予算、副町長の選任、教育長の任命について審議し原案どおり可決した。

行政報告

町長は、平成29年9月定例会以降における諸般の行政について、次の項目の報告をした。

○総務課関係

- ・叙勲・叙位・表彰関係について
- ・高知県功労者表彰について
- ・栲原町長選挙、栲原町議会議員補欠選挙について
- ・高知県貨客混載推進検討会全体会について



行政報告をする矢野町長

○企画財政課関係

- ・栲原未来大使について
- ・東京雲の上の会について
- ・津賀ダム水利権更新について

○保健福祉支援センター関係

- ・遠隔地・医療用人工知能(AI)の実証研究プロジェクトに関する包括連携協定式について

○環境整備課関係

- ・町道佐渡鷹取線道路改良工事について
- ・国道197号新野越トンネルについて

○生涯学習課関係

- ・中字称シェフ学園給食本格フレンチについて

〈目次〉

新年挨拶 2

行政報告 3

所信表明 4~5

12月定例会・臨時会での決定 6~10

意見書 10

委員会報告 11

西川慶男氏 高知県功労者表彰受賞

町議会議員として多年にわたり地域の産業振興、公共の福祉増進等、地方自治の発展に寄与された功労者として高知県功労者表彰を受賞され、12月7日に表彰伝達が行われた。



表彰伝達を受ける西川議員(左)

吉田町長、1期目に臨む 所信を述べる。



千百年の時の流れの中で多くの先人によって築かれ、育まれてきたこの梶原の地と文化や伝統を次の世代にしっかりと引き継いで行かねばならないと、身の引き締まるような思いを感じているところでございます。

また、町制施行後の50年にわたり山口勇町長、中越準一町長、中越武義町長、矢野富夫町長と守り引き継がれてまいりました梶原町の流れ、国・県や多くの企業の皆様との信頼のきずなを絶やさぬよう新たな体制のもと職員と心を合わせ、一生懸命取り組んでまいり所存でございますので、土釜議長をはじめとする議会議員の皆様、町民の皆様

様にはご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

20年ぶりの大変厳しい選挙となりました、今回の町長選挙において町民の皆様のご支持をいただき当選させていただきましたことは、私にとつて何よりの自信にもつながりますし、大きな勇気をいただいたことに心から感謝申し上げる次第でございます。

一方、選挙結果は、私の力不足はもろんですが、これまで長年にわたる住民の意思を直接表せる場がなかったことに対して町民の皆様が感じてこられた不満やもどかしさの表れでもあると感じております。

今回の選挙を通じて町民の皆様には数々のご心配をおかけしたことと存じますが、今後におきましては、できるだけ速やかに、本来の梶原町が育んできた町民の一体感を再度構築していかねばならないと考えているところでございます。

この度の結果を踏ま

所信表明

え、これからの4年間に臨む私の所信を申し上げます。まして、本町が将来に向けて一致団結して取り組んでいけるよう全力で取り組んでまいり所存でございますので、皆様のご支援とご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

私は、この選挙を通じて梶原の宝は「人」であるということを申し上げます。

藤原経高公が延喜13年（西暦913年）に、この地に入植以来、津野家の所領として千百年有余年にわたり先人の皆様が育んでこられた津野山文化とそれを支える人々の人柄や生きざまは、多くの方々

の信頼と共感をいただき現在に至っております。僻遠の地であった梶原町が、高知市、松山市から自動車で1時間半の時間距離となり、洗練された町中心部の町並みは、道中の景色からは想像がつかない異次元の風景となっており、訪れる人々に感動を与えてくれるものとなっております。

こうした町づくりができてきたのも偏に、この地で心を一つにしながらかつた町民のまとまりがあったからにはかなりません。また、その町民性は、茶堂文化にあらわされる「おもてなしの心」と「情報収集の力」や、長く厳しい冬場の雪との戦いの中で培われた「勤勉さ」や「辛抱強さ」、「真面目さ」にあるといつても過言ではないと考えております。

こうした、実直で勤勉な住民性があつたがゆえに昭和46年に誘致企業である「梶原ミロク」が誕生し、平成2年には南四国部品梶原工場が設立されました。それぞれ世界一の命中精度を誇るライフル銃の製造と国内の他地域の工場では加工できない配線の組み立てを行っていたなど、これまでこの町の加工業の代表として町民の生活基盤を支えていただいております。

また、町内の土木建築、商工業、農林水産業等それぞれの分

野で町民の皆様がこの町民性を発揮され、陰ひなたなくご尽力いただいていたおかげでこの町が守られてきたところであると心から敬意と感謝を申し上げます。こうした皆様とこれまで以上に「信頼」しあい、力を合わせ、物事に取り組むに当たっては「和」の心を持って取り組み、この梶原の宝である町民性と連帯感、まあまりの良さを守り伝えるための人づくりに力を注いでまいりたいと考えております。

私は、これまで「町民のみなさん一人ひとりそれぞれ生きがいや幸福感を感じながら、安心して安全に暮らせる町づくり」に取り組ませていただきたいと申し上げてまいりました。そのため取り組みとして、「福祉の充実」「教育の充実」「産業振興」「安心して暮らせる環境づくり」に取り組んでまいります。

この6か月間町内各地を訪問させていただきます。

いろいろなお話やご意見を伺うことができませんでした。厳しい環境の中で暮らしていらつしやる方や、移動手段に困っておられる方、一人暮らしで体調を崩した時の不安を感じていらつしやる高齢者の方々、様々なお話を伺いました。多くの皆様から「若者が都会へ流出しなくても済むように、働く場の確保をしてほしい」との声や、「高齢者や小さな子どもを抱えた方、体調に不安がある方が自宅で行える仕事があるといい」といったお話をお聞きしました。

また、こうして町内を走る中で幹線道路の改良は、順調に進んできましたが、集落に通じる道や地域間の道では落石や崩土が見受けられ、命を守るべき道の多くに安全とは言えない状況であることも身に染みて感じたところでございます。

こうした活動を通じて、私が目指す町づくりの方向性が間違っていないと信じていることができました。

福祉の充実につきましては、社会福祉協議会やカルスト会、四国部品などの福祉法人や各種団体との連携を図りながら、高齢者の移動手段のあり方や一人暮らしの要支援者の見守りの望ましい在り方を検討してまいります。

また、梶原病院を中心として、これまで本町が重点的に取り組んできた、保健・福祉・医療の一体的な取り組みの更なる充実に取り組んでまいります。

教育の充実につきましては、学校教育では基礎学力の定着はもちろんですが、表面的な成績に一喜一憂するのではなく、しっかりと根っこを張ったたくましい子どもの育成に力を注ぎます。また、社会教育におきましても子どもたちを取り巻く家庭や地域の充実とそれを支える各年代の生きがいづくりと学びを支援してまいります。

産業振興では、これまでこの町を支えていた産いた企業やそれぞれの産

業に従事する皆様との連携をこれまで以上に強めてまいりたいと考えております。また、民間企業や大学等との連携により一次産業の六次産業化を目指して食品加工などの産業の創出に取り組んでまいります。さらに、これを支えるそれぞれの分野の人材育成に努め、若者がこの町から出ていなくて済むような、出て行った若者が帰ってこられるような条件整備に取り組めます。

こうした取り組みを進めるためにも、これまで取り組んできた基盤整備の重要性は変わりません。

安心して暮らせるための命の道の整備や危険個所の解消など基盤整備はもちろんこれまでもおりしつかりと取り組んでまいります。

近年、巨大化する台風や各地で頻発する局地的なゲリラ豪雨など、これまで考えられなかった災害が発生するようになりました。

今年度の台風による町内

各地の山林被害は記憶に新しいところであり、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。こうした災害の発生は抑えることができなくても、被害を最小限にとどめることができるよう取り組んでまいります。

これまで、先ほど申し上げましたとおり僻地からの脱却のため、国道や県道の改良などを最優先事項として取り組むため行政主導の傾向が強かったと考えております。このことは現在の梶原町の利便性や街並みを見るにつけ、決して間違いはなかったことが証明されていると考えております。

本町には全国的にもまれな区長を中心とする区制が生みだされ、これまで守り継がれてきました。合併した自治体（旧の6村）を統合しようとするのではなく、それぞれの独自性を生かして知恵を発揮することで各区がそれぞれの発展を遂げてきたところであると考

えます。この制度は、梶原町の宝の一つであると考えるところであり、集落活動センターと共に更なる進化をとげていただくことで、素晴らしい住民自治の仕組みができていくものと考え、期待しているところでございます。

こうした制度や取り組みが充実し、成長するよう地域を支える人材の確保や育成に取り組む、「様々な意見が出しあえる、穏やかな風が流れるような風通しの良い、町民のみなさんがそれぞれの生きがいと幸福感を感じ、笑顔のあふれる町づくり」に取り組めます。

現在、梶原小学校跡地に複合福祉施設が建築されておりあります。介護される方だけでなく介護するご家族の負担を軽減しながらみんなが安心して暮らせるために役立てる施設となるよう準備が進んでおります。

また、隣接して建設されている図書館は、梶原に居ながらにして心は広い世界を旅し、歴史を訪ねることのできる場として限りなく広い世界を町民の皆様にご提供できる場として整備されていきます。また、この図書館が保幼小中高の一貫教育と相まって未来の日本や世界を支える子どもが育ってくださることを願っています。

これまでの本町の資産を再発見し活かし、新たに生まれようとしている資産が町民の皆様の暮らしを心豊かなものにできるよう取り組んでまいります。

「町民一人ひとりがそれぞれの生きがいと幸福感を感じながら安心して安全に暮らすことのできる町」、「穏やかな風通しの良い、笑顔のあふれる町」で、子どもたちが、青年が、大人たちが、高齢者が幸福に暮らす風景を実現するため取り組みを進めます。皆様のご指導、ご助言とご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議案審議の概要

12月定例会及び12月臨時会に提案され審議した議案についての概要（質疑は抜粋）

12月定例会（336回）

予算

〔専決処分の承認を求めることについて（平成29年度高知県高岡郡桝原町一般会計補正予算（第2号））〕

9月28日に解散され、10月22日に執行された衆議院議員選挙に要する経費で、緊急を要するため平成29年10月2日付で専決処分したものを。

可決（全員賛成）

〔一般会計補正予算（第3号）〕

議会費

議員辞職に伴う報酬の減額他

▲193万2千円

総務費

災害時情報の伝達速度の向上を図る

Jアラートシステム改修委託料 572万2千円

防災拠点施設及び備蓄倉庫を

整備するための工事請負費 1億1千825万6千円

住宅耐震改修補助金

540万円

台風21号で被害を受けた光ファイバーケーブル

及び小水力発電施設の修繕料 409万9千円

その他人件費等の減額

▲1千946万6千円

民生費

平成28年度の臨時福祉給付金事業及び障害者自立支援事業の精算による国県への償還金 346万1千円

利用者のサービス利用増加による

自立支援給付費 180万2千円

その他

▲597万7千円

衛生費

雲の上のプールの熱源を木質ペレットボイラーへ

切り替えるための工事請負費 4千982万1千円

合併処理浄化槽補助金

235万5千円

その他

▲24万7千円

農林水産業費

雲の上のホテルペレット焚

アローエース煙管交換修繕料

176万5千円

原木しいたけ競争力強化対策補助

42万6千円

その他

298万4千円

商工費

担い手支援事業補助金

132万3千円

土木費

台風等による道路修繕料

1千750万円

道路の維持管理に要する除雪、

機械賃借料経費

1千200万円

その他

39万9千円

問

倒木災害の被害について今後どのような形で進めて行こうと考えているのか。

下元秀俊

答

産業振興課長 来米修作
課内でも議論しているが、現在のところは倒れたものは地主さんをお願いをしてペレット等に利用するというのが現状である。

問

家屋まわりの支障木の安全対策を改めてPRすべきではないか。

下元秀俊

答

産業振興課長 来米修作
家屋裏の危険木対策については今後もPRをしっかりし、家屋に危険が及ばないよう対策をしていきたい。

答

町長 矢野富夫
県とも協議しながら、住人のみなさま方に間伐の推進も含めてPRしていければと考えており、町にも支援体制があるので今後も積極的にPR活動に努める。

問

中越計清
主要地方道県道中平袴原線の関係であるが、川井トンネル付近で落石があり、通りかかった車が乗りあげ大破したと聞いたがその後の対応は。

答

環境整備課長 矢野準也
高知県の保険で対応していくことを確認しており、また落石が非常に多い箇所があることも認識しているので県の方へ要望をかけていく。

問

市川岩亀
林道松原線の中ほどで山腹崩壊がおきている。また、県道松原窪川線においても路肩が崩壊しており、この2路線について現在どのような状況か。

答

環境整備課長 矢野準也
林道松原線については現在発注準備をしている。県道松原窪川線については、高知県が災害査定に申請するという方向で調整されている。

●消防費

本部及び第1分団の消防施設
整備委託料及び工事請負費 4千941万1千円

●教育費

人件費調整他 261万2千円

●災害復旧費

台風18号で被害のあった農地・農業施設災害の事務費及び工事請負費1千62万3千円など合計で2億6千403万6千円を追加し、一般会計の総額を69億916万9千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【松原診療所特別会計補正予算（第1号）】

歳入歳出それぞれの総額に変更はないが、人件費及び通院バス負担金45万7千円を減額し、医薬材料費を45万7千円増額しようとするもの。

可決（全員賛成）

【四万川診療所特別会計補正予算（第1号）】

補正内容は、職員の配置に伴う医師報償費236万円の減額、病院会計繰出金151万3千円を増額し、歳入歳出からそれぞれ84万7千円を減額し、その総額を1千395万3千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【国民健康保険特別会計補正予算（第2号）】

補正内容は、諸支出金で袴原病院の空調設備改修に伴う国庫補助金の繰出金270万円ほか人件費の調整で、歳入歳出それぞれに39万6千円を追加し、その総額を6億5千459万9千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【介護保険事業特別会計補正予算（第2号）】

補正内容は、人件費の調整で歳入歳出それぞれから14万9千円を減額し、その総額を5億6千574万4千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）】

歳入歳出それぞれの総額に変更はないが、節間において人件費の調整をしようとするもの。

可決（全員賛成）

【農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）】

歳入歳出それぞれの総額に変更はないが、節間において人件費の調整をしようとするもの。

可決（全員賛成）

【下水道事業特別会計補正予算（第2号）】

歳入歳出それぞれの総額に変更はないが、節間において人件費の調整をしようとするもの。

可決（全員賛成）

【病院事業会計補正予算（第2号）】

主な内容は、収益的収入及び支出それぞれ人件費及び派遣医師報償費の調整に伴い、一般会計、四万川診療所特別会計及び病院事業会計間で調整をしようとするもので、収益的収入に245万1千円を追加し総額を5億3千147万1千円に、収益的支出において437万円を追加し、その総額を5億6千335万3千円にしようとするもの。資本的収入では、空調設備に伴う地方債及び補助金の確定により1千190万円を増額し、総額を5千790万円に、資本的支出では、空調設備の事業費及び備品購入額の確定により293万6千円を減額し、その総額を7千738万6千円とするもの。

可決（全員賛成）

【給与等集中管理特別会計補正予算（第1号）】

主な内容は、人件費、賃金について各会計間との調整を行うもので歳入歳出それぞれから1千217万1千円を減額しその総額を9億2千782万9千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

条例

その他

〔三嶋崎ハイツの設置及び管理に関する条例の制定〕

高知県住宅供給公社が管理運営している特定優良賃貸住宅三嶋崎ハイツが平成29年10月に梶原町に譲渡されたことに伴い新たに三嶋崎ハイツの設置及び管理に関する条例を制定しようとするもの。

可決（全員賛成）

問

西川慶男

町営住宅に入居する際には、地区の行事にも積極的に参加するよう行政からも再度しっかりと伝えよ。

答

総務課長 二宮健志

入居の際には、地区との行事に参加するよう伝えており、再度徹底していきたい。

〔梶原町地域活動拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定〕

住民が支え合いながら自立を目指して、生活、福祉、防災などの課題を解決する組織、集落活動センターとして、旧越知面小学校と旧若草保育所を地域活動の拠点とすることを目的として、町が整備する地域活動拠点施設について設置及び管理に関する条例を制定しようとするもの。

可決（全員賛成）

〔工事請負契約〕

「平成29年度29年災地すべり災害（H28・6・20～H29・7・24）林道広野九十九曲線1号箇所災害復旧工事」について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めもの。

可決（全員賛成）

〔指定管理者の指定〕

梶原町の公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第5条の指定管理者の候補者を選定したのて、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第6項の規定により議会の議決をお願いしようとするもの。

可決（全員賛成）

施設の名称	梶原町複合福祉施設
指定管理者	社会福祉法人 梶原町社会福祉協議会
指定の期間	平成30年4月1日～平成35年3月31日

契約の相手方	杉本土建(株)
契約の金額	(代)杉本貞雄 7千106万4千円

問

二宮近雄

この複合福祉施設について、現場からの話を聞く時期が遅れているのではないかと思うのだが、平成30年4月1日開所は本当に出来るのか。また、施設概要、利用料等特別号を組んでも町民に知らしめる必要があるのでは。

答

環境整備課長 矢野準也

契約進捗率66%に対し59%ということと7%の遅れが生じている現状である。今後、人員を集中的に投入して施工し、2月末の工期には完成が図られる見込みである。

答

保健福祉支援センター長 橋田淳一

広報だけで周知するのではなく、また広報に掲載する場合には特集を組んだり、分かりやすい方法で知らせていくということを早い段階で検討していきたい。

問

中越計清

複合福祉施設には、どのような設備がありどのような方が利用できるのか町民に周知せよ。

答

保健福祉支援センター長 橋田淳一

早急に町民の皆様にも周知できるように取り組んでいく。

【高知市及び梶原町におけるれんけいこうち
広域都市圏形成に係る連携協約の締結】

高知市を連携中核都市として、高知県全体の経済成長をけん引し、圏域全体の住民の暮らしを支えていく取り組みを、高知市と梶原町の役割を明確にしたうえで、相互に連携を図りながら活力ある地域経済を維持することで住民が安心して暮らすことのできる圏域を目指すため連携協約の締結をしようとするもので、地方自治法第252条の2第3項の規定により議会の議決をお願いしようとするもの。

可決（全員賛成）

問 下元秀俊

人の誘致、インバウンド観光等も含めて今後どのような形で進めていくのか。

答 企画財政課長 西村新一

高知市としっかり協議し、本町への交流人口が向上できるような事業に積極的に取り組んでいきたい。

【梶原町松原区辺地総合整備計画の策定】

中平地区集会所改修事業を追加し、財源の確保を図ろうとするもので、辺地に係る公共施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条の規定により議会の議決をお願いしようとするもの。

可決（全員賛成）

【梶原町初瀬区辺地総合整備計画の変更】

町道の事業費を変更し、財源の確保を図ろうとするもので、辺地に係る公共施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条の規定により議会の議決をお願いしようとするもの。

可決（全員賛成）

12月臨時会(337回)

条例

【梶原町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例の一部改正】

町長等の期末手当の支給率について人事院勧告による一般職の勤勉手当相当の支給率の改正割合に応じた改正を行うもの。

可決（全員賛成）

【一般職の職員の給与に関する条例の一部改正】

国の人事院勧告を踏まえ、給料月額及び期末勤勉手当の支給率改定を行うもの。

可決（全員賛成）

予算

【一般会計補正予算(第4号)】

歳入歳出それぞれに363万1千円を追加し、その総額を69億1千280万円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【松原診療所特別会計補正予算(第2号)】

歳入歳出それぞれに3万3千円を追加し、その総額を1千873万3千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【四万川診療所特別会計補正予算(第2号)】

歳入歳出それぞれに2万4千円を追加し、その総額を1千397万7千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【国民健康保険特別会計補正予算(第3号)】

歳入歳出それぞれに38万6千円を追加し、その総額を6億5千498万5千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【介護保険事業特別会計補正予算(第3号)】

歳入歳出それぞれに21万5千円を追加し、その総額を5億6千595万9千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)】

歳入歳出それぞれに3万4千円を追加し、その総額を1億2千283万4千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)】

歳入歳出それぞれに4千円を追加し、その総額を3千120万4千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【下水道事業特別会計補正予算(第3号)】

歳入歳出それぞれに4万6千円を追加し、その総額を1億1千224万6千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【病院事業会計補正予算(第3号)】

収益的収入に11万3千円を追加し、総額を5億3千158万4千円に、収益的支出に52万1千円を追加し、その総額を5億6千387万4千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

【給与等集中管理特別会計補正予算(第2号)】

人件費について各会計間との調整を行うもので、歳入歳出それぞれに403万6千円を追加し、その総額を9億3千186万5千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

その他

【副町長の選任に付き同意を求めることについて】

現在不在となつてゐる副町長の選任をいたしたく、地方自治法第162条の規定により議会の同意を求めようとするもの。



住所 梶原町太田戸
氏名 久保栄八
期間 平成30年1月1日
～平成33年12月31日

可決（全員賛成）

【教育長の任命に付き同意を求めることについて】

久保栄八教育長から12月31日をもって辞職させていただきます旨の願いが出ており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を求めようとするもの。



住所 梶原町上折渡
氏名 矢野準也
期間 平成30年1月1日
～平成31年7月31日

可決（全員賛成）

新議員の紹介

平成29年12月3日に行われた梶原町議会議員補欠選挙において、中越計清氏（梶原町川井）が見事当選されました。

また12月7日に開催された12月定例会において、議会運営委員会委員、産業建設常任委員会委員、議会広報編集委員会委員に選任されました。



12月定例会での決定・意見書

子どものための予算を大幅に増やし、国の責任で安心できる保育の実現を求めよう

平成27年度の子ども・子育て支援新制度実施以後も待機児童は増加している。国はこの解消を3年先送りにしたが、待機児童の解消をはじめとした保育・子育て環境の整備はまったなしの課題である。一方、過疎化がすすむ地域においては、少子化問題は、地域の存続にかかわる重大な課題になっている。

1. 待機児童を解消し、地域の子ども・子育て支援を拡充するために国として認可保育所の整備計画をたて、必要な財源を確保すること。
2. 保育士等職員の配置基準の改善、そのための必要な財源を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当（少子化対策）大臣、県選出国会議員9名

提出者 西川慶男
賛成者 二宮近雄、川上寿久、土釜 清、市川岩亀

よって、国におかれては、予算を大幅に増額し、安心できる保育が実現されるよう、以下について要望する。

総務教育厚生常任委員会

委員長 西川 慶男

産業建設常任委員会

委員長 下元 秀俊

構成員

総務教育厚生常任委員会及び産業建設常任委員会においては、平成29年9月22日第335回9月定例会で、閉会中の調査付託を受けた「消防について」「産業振興について」は、両委員会とも10月中での調査を予定していたが、先方との日程調査が折り合わなかったことから、調査を断念したので報告する。

産業建設常任委員会

委員長	中岡 俊輔
委員	土釜 清
委員	市川 岩亀
委員	中越 計清

委員長	二宮 近雄
委員	川上 寿久
委員	土釜 清
委員	市川 岩亀

閉会中の所管事務調査事項

各委員会は、3月定例会までの閉会中に、次の事項を調査します。

- 議会運営委員会
 - ・議会3月定例会の運営について
- 総務教育厚生常任委員会
 - ・消防について
- 産業建設常任委員会
 - ・産業振興について
- 議会広報編集委員会
 - ・議会広報の発行について



矢野町長(右)

矢野富夫君に対する感謝決議

2期8年にわたり卓越した行政手腕と行動力を発揮され、本町の一次産業である農林業の振興、町民が安心・安全で心豊かに暮らしてゆける社会

基盤整備の充実を図り、今日の町政発展と住民福祉の向上に顕著な功績を残されたことは、万人の認めるところである。特に「環境」「健康」教

育」「産業」「文化」「くらし」を柱に、持続可能な社会づくりを図るために様々な施策を展開され、中でも、命の道である道路整備、生活環境改善の命の水、福祉複合施設、図書館の整備等、広く全国に梶原町の名を知らしめたとともに地方自

治体のトップリーダーとして手腕を発揮し、梶原町の自治発展をもたらした功績は誠に多大である。ここに、同君に対し深甚なる感謝の意を表すとともに、別紙記載文による感謝状を贈呈するものとする。



議長から矢野町長(右)へ感謝状の贈呈

心のふれあい広場

茶や谷夢くらぶ百歳体操

町内11ヶ所の一つ「茶や谷夢くらぶ」、なんとチャーマミングでおにゃんこクラブのようなイメージ。写真を撮りに伺うと、90歳を筆頭に下は51歳ではつらつとした女性集団。彼女たちは、一生現役を目指し、残りの人生を縁があつて

住み慣れた地区で地域の人々と楽しく仲良く過ごしていければ最高。そのためには、体力づくりが大事。平成28年9月から発足。1年経過時に、会の名前を全員で出し合つてその中から投票で決めたそうです。

週1で木曜日に体操をしており、29年11月には忘年会もしたそうです。話し合いをしたり、体操をして気持ちも晴れるし、体の調子が良くなったり体力が少しよみがえったようです。今年も病院の理学療法士さん、社会福祉協議会、行政のみなさんご支援よろしくお願ひします。いつまでも頑張ります。 中岡俊輔 記



茶や谷夢くらぶの皆さん



元気に体操をする皆さん

あとがき

町外の方が来町した折、こんな奥深い山里に合併する事もなく、単独自立で自然と一体化した美しい街並みを保持し、学校、公共施設、ホテル等が整い、よほど意識の高い住民力のある人が住んでいるんですね、と言われ誇らしく感じると同時に、矢野富夫町長の功績は非常に大きなものであつたと感じました。

となりです。私も26年間の議員生活の中で、中越準一町長、中越武義町長、矢野富夫町長と3人の方と共に歩み、議員の立場で切磋琢磨し、討議の中で成長させていただき、喜びを実感しながら次へのステップにつながる取り組みをさせてもらいました。

町長に就任以来、安心と安全な町づくりを公約として、8年間ぶれる事のない仕事への情熱は、住民誰もが認める存在でした。公約以外にも、前町長から引き継いだ基金は、16倍の120億円となり複合福祉施設、図書館など27億円の予算の内、国からの補助金22億円を取り付けられました。国への要望、陳情の折、我々が仕事を終え、一息ついて

ふと思い浮かぶのは、ケネディ大統領の初心演説。国家が何をしてくれるのではなく、国の為に何ができるか。どうすればいいか。町長の姿に重なりました。目標を持って任務に当たり、成果を持って後者に引き継ぐ、まさに生きた行政を築きあげ、そのバトンを吉田町長に手渡されました。我々もまた、吉田町長と共に、日々進化し続けていかなくはと決意を新たにしました次第です。

西川慶男 記